

1 課題を抱える業務の内容

東京都水道局では、2030年代までに全戸導入を目指し、令和6年度までに約13万個のスマートメータを先行導入し、導入効果を定量的に検証します。

検証項目の一つとして、スマートメータから得られるデータをお客さまサービスの向上等に活用することがあげられます。

2 課題の詳細

更なるデータの有効活用に向けては、他の事業者の有するデータとの連携が必要です。

また、スマートメータのデータを活用するためには、個人情報保護法等の法令面での整理、ガイドラインや本人同意の枠組みの作成等を実施する必要があります。

3 こんな技術を求めています！

スマートメータから得られるデータを利用し、特に、施設維持管理の効率化面での活用、例えば給水所などのポンプ運転の最適化により、環境負荷低減に繋がるような技術の提案

また、水道メータと他データとの連携により社会的なメリットを生み出す可能性のあるユースケースの提案